



取材の注意点を確認した成田さん(左)と吉澤さん

奏者の思い伝えたい

音楽祭こども記者説明会



東奥日報社は17日、第2回「青い海と森の音楽祭」(10月31日～11月8日)を取材する「音楽祭こども記者」の説明会を青森市の本社で行った。小学生から高校生までの記者7人のうち、2人と保護者が出席し取材のポイントなどを確認した。

音楽祭こども記者は、青森市出身のコントラスト奏者・高橋洋太さん、弘前市出身のオーボエ奏者・西沢澄博(さやひろ)さんにインタビューするほか、ファミリーコンサートとその舞台裏(リハーサル)を取材する。

説明会では、あらかじめ質問を準備することや分からないことがあったら確認すること、リハーサルと本番の違い、演奏の雰囲気をしっかり観察することなどのアドバイスを受けた。

西沢さんにインタビューする青森市荒川中学校2年の成田幸生(こうせい)さん(14)は「音楽祭にどのような気持ちで臨んでいるか、苦労や熱意も伝えたい」と楽しみにする。ファミリーコンサートを取材する外ヶ浜町蟹田中学校1年の吉澤弥咲(みさき)さん(12)は「リハーサルと本番の違いが楽しみ。記事を通して音楽の魅力をたくさんの人に知ってもらいたい」と話した。

音楽祭こども記者は、冬休みの東奥こども記者を前倒しして、特別版として実施する。

(三浦博史)